

☆登山とハイキングの
普及と向上に全力をあげよう
☆力をあわせ何としても
300名会員を回復しよう

ろうさんKAGAWA 県連盟だより

香川県勤労者山岳連盟
No.57-04 2023.6.3
高松市松縄町1005-4
電話：087-865-7521

屋久島 宮之浦岳(1936m)

◎5月2日(火)～5月6日(土)

◎山小屋2泊3日 淀川登山口～白谷雲水峡

◎参加 CL井原 + 観音寺あけぼの山の会5名

「洋上のアルプス」と呼ばれる屋久島を5月の

連休に車、フェ

リー、高速艇

を乗り継ぎ6

名で行ってき

た。淀川登山

口から島の中

央に聳える日

本百名山No.1

00の宮之浦岳(1,936m)に登り、縄文杉を

経て、白谷雲水峡へ至る山小屋泊2泊3日の山行。

屋久島は月の内、35日雨が降ると言われているが、

天候に恵まれユネスコ世界遺産の屋久島

を満喫した。

里例会で屋久島の計画があることを知る。一

度は行ってみたいと思っていた場所である。でも、

山小屋に泊まったことがない。寝袋もない。

大きいザックもない・・・そして、重たいザック

を担いで長距離を歩くことができるのか等、

わくわく感と不安が混じる。しばらく考え、行

けるときに行こうと決意する。寝袋・寝袋カバー

等、ザックを購入。家で寝袋を使って寝る練習

をする。その恰好を見た妻に笑われる。リーダー

Iさんの声掛けで、小屋泊の訓練として愛大避難

小屋に1泊して二ノ森に行く。

5月2日、21時に車で事務所を出発。八幡浜

からフェリーで臼杵港へ。東九州自動車道を南

下して鹿児島港へ。



5月3日、高速艇(トッピー)で屋久島へ。揺れもなく快適。すぐにタクシーで標高1,360mの淀川登山口に向かい、1泊目の淀川小屋へ出発し、ほどなく小屋に到着。テント泊の人が数名いたが、山小屋には誰もいなかった。

5月4日：宮之浦岳・新高塚小屋にむけて3時起床し4時の出発。標高1600m付近に広がる国内最南端の高層湿原花之江河に到着する。めずらしい高山植物や幻想的な景色を味わった。世界遺産に登録され、屋久島の最高峰、九州の最高峰である宮之浦岳に到着。洋上のアルプスといわれる景色を堪能する。新高塚小屋への途中、20匹程のヤク猿が登山道を占領していた。ゆっくりと近づきどいてもらう。

新高塚小屋に到着すると、テントデッキはすでに一杯だった。小屋の案内の方に、あと8名空いているといわれる。ギリギリセーフと思いきや、その後も人が押し寄せ、最終的には通路まで一杯になった。

5月5日。連休で混雑が予想されるので早い時間に出発する。縄文杉では独占状態だった。

その杉の大きさに圧倒される。写真を撮るベストポジションといわ

れるところから撮影

したが、その大き

さは写真では伝わり

にくい。縄文杉との別

れを惜しんで下っ

ていく。その途中で、

夫婦杉や大王杉を通

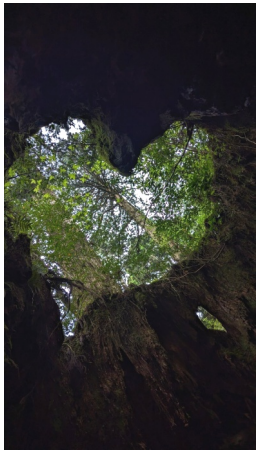
り、大正時代初期の

頃に屋久島を訪れた

イギリスのプラント

ハンター、アーネス

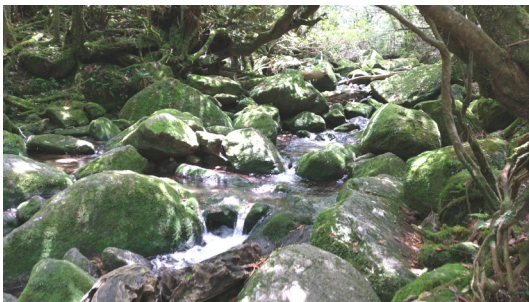




ト・ヘンリー・ウィルソンが世に紹介したことから、「ウィルソン株」と名前がつけられた株に着く。中は、10畳以上の空間が広がり、上を見上げると、空が見えるほどの穴が空いている。ハートの形に見える場所を探し写真を撮る。

しばらく歩くと大株歩道入口に出る。ここからは、トロッコ道を歩く。途中にある仁王杉、三代杉等を見ながら1時間ほど歩く。

分岐点の楠川別れから白谷雲水峡方面へ。辻峠を過ぎ映画「もののけ姫」の舞台となったと言われ木霊（こだま）が出てきそうな雰囲気漂う苔むす森に着く。もののけ姫ファンなら必見の場所だ。



白谷雲水峡から予定のバスに乗って6名無

事民宿に到着する。夕食は屋久島名物のトビウオとビールがおいしかった。

今回の山行は、山の会の先輩の応援、一緒に行ったメンバーの応援で、一生忘れることができない楽しい思い出になった。

【観音寺あけぼの山の会：宇賀報告抜粋】

四国交流ハイキング in横倉山

◎5月21日(日) 快晴 参加103名
高知37名・香川53名・愛媛6名・徳島7名

高松ハイキングクラブとさぬき山歩会の6名は朝6時に高松を出発、到着は開会式が始まる直前になりました。

すぐに開会式が始まり、高知の中田さんの司

会により各県連代表者の挨拶の後、全体での集合写真を撮りました。



AコースとBコースに分かれて行動を開始。Bコースは第3駐車場への移動してから2班編成。リーダーより注意等の話の後に出発し、横倉山の珍しい植物の説明など聞きながらのハイキング。横倉宮に着き牧野博士命名されたヨコクラノキの説明とその奥の石灰岩の岸壁の上に登ってみるその場所は（馬鹿試し）と呼ばれている。次に安徳天皇陵墓があるのには少しびっくり山口にもあるらしい。史跡が多くある横倉山はハイキングには良い処である。アップダウンの繰り返しにて最後の方では膝が少し痛く午後2時半頃に第三駐車場に到着Aコースの阿部さんより電話あり第一駐車場にて待っていると連絡を受け、Bコースの方々に挨拶をして



から車にて阿部さんと合流、帰路につき高松に18時頃帰着、年1回の交流ハイキングでは多くの参加者と久しぶりの挨拶、楽しい1日でした。

【高松ハイキングクラブ 市原】

県連理事会③の報告

5/17 善通寺市民会館 13/14+佐藤

◎各地で登山学校やハイク講座が始まった

- 善通寺――6名
- 観音寺――21名
- 東部――11名



◎5月は+5-3で+2 =256名
増は高松①、山歩会①、丸亀②、観あ①

《300会員を早期に回復しよう!》 2023.5

	2017.3-6年増減	57総 会員	3-5月 増減	5月 入会者	5月 会員数	昨同 月比	目標
高松労山	+19-14	29	+3-6		26	+4	30
高松H	+5-12	4			4	0	6
山歩会	+44-25	37	+3-3	男26HP	37	+7	40
五色の峰	+12-10	9			9	-2	10
しわく	+47-30	64	+3-7	女59岩/女59HP	60	0	62
善通寺	+42-45	57	+4-2		59	-5	
あけぼの	+33-19	44	+1-4	男66知人	41	0	47
観音寺H	+6-12	21	-1		20	-1	22
県合計	225-213	265	14-23		256	+4	300
坂出H	15-44	0					

《県連救助隊のあり方について》

佐藤隊長を迎えての論議第1回

《佐藤隊長の問題意識》

救助隊結成1995年 以来28年 本格出動なし
防災ヘリの充実で救助形態も大きく変わった

- ①従来の救助隊(現場出動)の役割はほぼ終わったのではない
- ②知識や技術を継承する場をどうするか
- ③会員の減少や高齢化の中で県連の人材がなくなっている。力の集中をはかっては。

前) ①各会の役に立っている。 搬出技術
コンパニオンレスキュー・講習会
②隊としての出動はなく、これからも機会
があるとは思われない

阿) ①四国ベルクハルトの解散→捜対部で対応→救助隊の結成へとつながってきた。

②各会でのコンパニオンレスキューはなくな
らない。

③9月拡大三役会までに方向性を出せたら

佐) ①「無いよりあった方がいい」という程度
の認識や論議ではダメだ。

②出前講座の利用会も限られている

市) ①講習や救助技術教育ができるのは救助隊
しかない。しかし本来は教育捜対の任務。

安) ①昨年1回、体調不良で対応を求められた
が、佐藤・三野が駆けつけてくれ対処で
きた。→今後は各会での対応になるのか

佐) ①ヘリの普及で救助は様変わり。人海戦術
での救助活動は地域の救助隊(遭難対策
協議会など)に頼る方向か →捜対協議
会は警察と消防中心、四国では「石鎚山」
だけとのこと

宮) ①正確な最新知識の学習は必要

吉) ①救助隊で学んだ新しい技術や知識を会
の中に落とし込む努力をしている

②出前講座 気軽に頼んでいいのか迷って
いた

加) ①教育捜対の活動として 遭難を考える集
い/捜対事例集/登山学校を各会主催に
発展させてきた

②隊員同士で横のつながりが深まった

③県連捜対規定の作成を含めて論議し、一
年かけて具体化すればどうか

真) ①救助を警察と消防に任
せきるのはダメだ。行
政の補助でもいいから
部門として必要。



②技術と知識を次の世代
につなぐための部門が必要。

谷) ①隊はいらないが、技術や知識は必要

②重点は教育捜対 と 会員拡大?

山) ①救助隊は直接出動が無くても必要だ。安
全登山やコンパニオンレスキューなどで

②救助隊に県連の「教育・捜対」活動の肩代

わりをしてもらっている状況。

前) ①2012年に入会。県連捜対規定はなく、あったのは救助隊規定だけ。

阿) ①救助隊(佐藤隊長)におんぶにだっこの状態になっていた。しかし、これからもリードする人が必要だ。



佐) ①結論は出ているように思う。論議を難しくしないで欲しい。

時代は移り、組織をとりまく状況は大きく変わる。組織を改革するのは当たり前だ。

②いろいろな技術や知識を引き継いでいくためにも、組織をどう再構築するのかを真剣に論議すべし。拡大と教育・捜対に、もてる人材を集中すべきでは。

③下からの平論議だけでは改革の方向は出てこない。理事長を先頭に、イメージプランを提示して、各会の論議をすすめるべきだ。

会名	5/01月~5/28日の山行など				2023年6月予定		7月予定	
	月日	山行名	CL	参加	日	山行名	日	山行名
高松	05/02-05/11	◎高千穂峰・韓国岳	川尻	7	03	◎大滝山キャンプ	02	◎RCT
		◆里例会		12	04	◎大滝山清掃		
	/17-18	☆白馬山 主稜杓子岳東壁	鎌田	1	11	◎東赤石床鍋沢沢登り	16-17	◎沢のぼり
	/21	◎横倉山	加藤	8	18	◎学校-二子山	30	◎学校-大川山
	/21	☆横倉山		2+2				
	/22	☆小豆	鎌田	1+2				
	/25	◆運営委		10				
	/28	☆東赤石床鍋沢登り	東	2+2				
	/28	☆岡山:櫃ヶ山	鎌田	1+5				
	/28	□大滝山登山学校	加藤	4+14				
高八	/14-15	◎奈良:柳生街道~若草	市原	1	04	◎屋島清掃	01	□安全講習会
		◎横倉山	市原	1			26-29	☆信州花めぐり
山歩会	05/04-06/09	◎三瓶山お鉢巡り	阿部	11	04	◎女体山清掃	02	◎四国
	/10	◎ちち山	阿部	5	08	◎平日	09	◎烏帽子山
	/11	◆里例会		11+1	11	◎赤星山	14-17	◎白馬岳バス登山
	/21	◎屋島山	大野	4	13	◎山犬嶽	30	◎学校-大川山
	/21	◎横倉山	大野	4	18	◎学校-二子山		
	/21	☆空海ウオーク	大野	2	25	◎阿波矢苦山		
	/28	□学校-大滝山	大野	6				
五色の峰	05/07	◎紅ノ峰 RCT						
	/14	◎紅ノ峰 RCT						
	/21	◎紅ノ峰 RCT						
	/28	◎紅ノ峰 RCT						
		◎紅ノ峰 RCT						
丸亀	05/03	◎鋸山	関吉	10	03	◎紅芍薬(高知)	01	◎伊予富士(立山ト)
	/03-05/04	◎西穂独標	田	4	04	◎飯野山清掃	08	◎大屋富 RCT
	/04-07/13	☆奥穂~西穂雪稜	乾	1+1	09	◎綾歌湿原	14-17	◎立山バス登山
	/11	□山サ	吉	13	10	◎大屋富 RCT	23	◎丸石沢登り
	/14	◆里例会		32	11	◎バスハイク(高知)	26	◎王頭山
	/16	☆大石山/北壁	熊野	1+3	18	◎綾歌三山	29-30	◎キャンプ-宮公園
	/20	◎大屋富 RCT	乾	4+1	24	□山サ 自然保護		
	/21	◎横倉山	山前	3+1				
	/23	◆運営委		8				
	/25	◆里例会		23				
	/27	◎白髪山	原	9				
	/27-28	☆御在所岳	乾	1+1				
	/28	◎稲叢山	関	8				
善通寺	05/03-04/11	◎剣山~天狗塚	森	5	04	◎大麻山登山道整備	02	◎山犬嶽
	/14	◎安神山・鷲ヶ頭山	三倉	10	11	◎白石島・立石山(岡山)	14-17	◎八ヶ岳集中
	/18	◆運営委		8	18	◎鉄砲石川沢歩き	23	◎赤帽子山
	/20	◎教室-我拝師山	藤保	9	25	◎論鶴羽山		
	/21	◎横倉山	村	9				
	/21	◎西赤石山	久平	19				
		※毎火・金に夜間訓練						※毎火・金に夜間訓練
観音寺	05/01	☆鋸山~豊受山	安東	1	04	◎七宝山清掃	09	□赤星山 歩行技術
	/02-06/03	◎屋久島ノ宮ノ浦岳	井	6	05-08	□ワイルド・D-F ワーク	16	◎二ツ岳
	/04	☆西赤石山	真鍋	1+1	11	☆佐渡-金北山	20-21	◎おかめ避難小屋
	/06	☆大屋富 RCT	井	2+1		◎雪彦山	30	◎八実④-剣山
	/10	◆里例会		24	25	◎八実③-山犬嶽		
	/13	☆大屋富 RCT	原	2+7	29	◎笹倉湿原		
	/15	◆運営委		8				
	/16	☆稲叢山	安東	1				
	/17	◎稲積山 RCT	三野	4				
	/20	◎稲積山 RCT	三野	4				
	/20	☆伊予富士	井	2+1				
	/21	◎横倉山	小野	13				
	/21	☆西赤石山	井	2+3				
	/24	◆里例会		20				
	/19	☆東赤石山	安東	4				
/25	◎稲叢山	横	7					
/28	◎八実②-皿ヶ嶺	藤	13+16					
観H	05/11	◆里例会		9	04	◎七宝山清掃	09	◎赤星の滝
	/14	不入山	篠原	4	18	◎二ツ岳	23	◎三嶺
	/18	◆運営委		11	25	◎八実③-山犬嶽	30	◎八実④-剣山
	/28	◎八講②-皿ヶ峰	秋山	10				
県連	21	◎四国交流ハイク 横倉山	井上	103	04	◎各会一斉清掃登山		
					25	◎救助隊ト(大屋富)		

各会の山行一覧とこれからの山行予定 ◎例会山行 ☆個人山行

